

3.3 広報・PR

1 イベント等でのPR

(1) 第127回水戸の梅まつり

大臣会合開催の機運醸成を図るため、水戸の梅大使によるPRやチラシの配布を行いました。

日 付：2023年2月11日(土)、3月4日(土)

場 所：偕楽園公園、JR偕楽園駅



水戸の梅大使によるPR



偕楽園駅での来場者出迎え

(2) 県人会でのPR

大臣会合開催の機運醸成を図るため、茨城県人会連合会新年賀詞交歓会でポスター展示やチラシの配布を行いました。

日 時：2023年2月1日(水) 11:30~13:00

場 所：ホテルグランドアーク半蔵門 富士の間

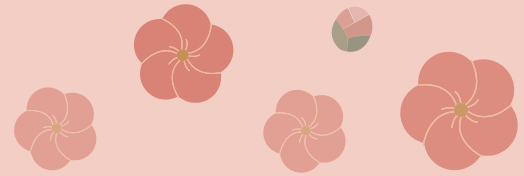


PRポスター

G 7 茨城水戸内務・安全担当大臣会合の開催概要	
会合の名称、日程等 G 7 茨城水戸内務・安全担当大臣会合 G7 Interior and Security Ministers' Meeting in Mito, Ibaraki 茨城県はおもてなしの心にあふれ、国際会議開催の実績が豊富。水戸市は歴史のまちであり、日本の文化を感じていただける都市。駅心からの交通アクセスもよい。	会合のイメージ 12/8(金) 夜 国・県/市共催 歓迎セレブション 12/9(土) 午前 全体会合 ~昼食会・市内視察~ 午後 全体会合 ~夕食会~ 12/10(日) 午前 全体会合・成果文書採択 記者会見
令和5年12月8日(金)~10日(日) 於：水戸市民会館(予定)	
最近の開催状況等 2017 イタリア 2018 カナダ 2019 フランス 2020 米連邦 2021 英国 2022 ドイツ 2023 茨城県	
出席閣僚等(過去の例) 【日本】 国家公安委員会委員長 【欧州連合(EU)] 内務担当欧州委員 【G7各国】 公共安全を所管する閣僚等 【国際刑事警察機構(インターポール)] 事務総長	

配布チラシ

3.3 広報・PR



② 関連イベントの開催

(1) 高校生向けサイバーセキュリティ講座

① 「いばらきP-TECH」スタートアップ講演会

実施主体：いばらきP-TECHコンソーシアム、協議会

日 時：2023年6月14日(水) 13:00～14:30

場 所：県立水戸工業高等学校 実習棟（B棟）2階プログラミング室



② つくばサイエンス高等学校 高校生シンポジウム「AI時代の安心・安全を目指して」

実施主体：県立つくばサイエンス高等学校

日 時：2023年9月28日(水) 9:50～11:40

場 所：県立つくばサイエンス高等学校 サイエンスルーム



③ 「いばらきP-TECH」サイバーセキュリティ高校生ワークショップ

実施主体：いばらきP-TECHコンソーシアム、協議会

日 時：2023年11月1日(水) 9:00～10:50

場 所：県立水戸工業高等学校 本館2階図書室



【概要編】 第3章 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催までのあゆみ

(2) G7給食

実施主体：水戸市

場 所：水戸市立小中学校・
義務教育学校



フランス編



アメリカ編



イギリス編



ドイツ編



イタリア編



カナダ編



日本編

アメリカ食文化について学ぶ英語の授業（市立柳河小学校）

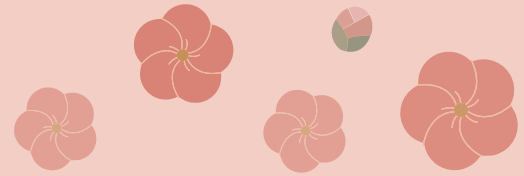


英語指導助手による英語の授業



高橋市長と一緒に給食

3.3 広報・PR



(3) 常磐大学創立40周年記念国際シンポジウム

「複合的危機における地域社会の安全・安心～これからの地域社会のあり方を考える～」

実施主体：常磐大学

日 時：2023年9月19日(火) 10:00～15:30

場 所：常磐大学 Q棟センターホール



富田学長あいさつ



大井川知事あいさつ



秋本警察庁長官官房参事官（国際担当）あいさつ



藤野茨城県警察本部警務部長講演

【概要編】 第3章 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催までのあゆみ

(4) 情報セキュリティセミナー&得意技・先進技術交流会

実施主体：茨城県情報サービス産業協会、茨城県高度情報化推進協議会、協議会

日時：2023年10月19日(木) 10:00~16:30

場所：水戸市民会館 中ホール・小ホール・4階ホワイエ



セミナー（中ホール）



先進技術交流会（小ホール）



ミニセミナー（4階ホワイエ）

(5) 2023年G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催記念シンポジウム

「量子コンピュータ時代を見据えた情報セキュリティ技術と社会のレジリエンス」

実施主体：茨城大学

日時：2023年11月6日(月) 16:00~18:00

場所：水戸市民会館 小ホール

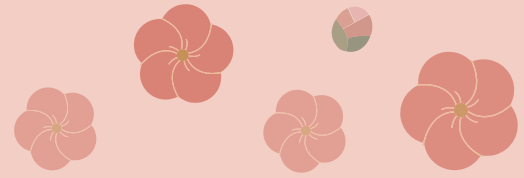


基調講演



パネルトーク

3.3 広報・PR



(6) Mito16中学生安全サミット～わたしたちの未来へ『声のバトンをつなげ』～

実施主体：水戸市教育委員会

日 時：2023年11月12日(日) 13:30～16:30

場 所：水戸市民会館 中ホール



中学生による発表



宣言書手交



記念撮影

【概要編】 第3章 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催までのあゆみ

(7) G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合直前PR in MitoriO フェスティバル

日 時：2023年11月25日(土) 11:00~16:00

場 所：水戸芸術館、水戸市民会館、芸術館通り



茨城県警音楽隊による開催PR



茨城県警音楽隊による演奏

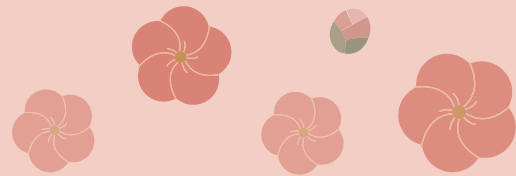


警察車両展示



白バイ乗車体験

3.3 広報・PR



③ 海外メディア向けイベント・ツアー

(1) 在日海外メディア向けPRイベント

「栗とともに茨城を知る～秋の贅沢、茨城の栗。
深い味わい、深い魅力。～」

実施主体：協議会

日 時：2023年10月10日(火) 11:00～13:00

場 所：IBARAKI sense BARA dining



提供された特別メニュー昼食



都内の和栗専門店「和栗や」によるモンブラン絞り実演



試食会

(2) 在日海外メディア向けプレスツアー

実施主体：協議会

日 時：2023年11月8日(水)・9日(木)



愛鶏園・GPセンター見学



JAなめがたしおさい・かんしょ収穫見学

【概要編】 第3章 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催までのあゆみ



野村花火工業・花火師へインタビュー



那珂湊漁港・サバの養殖の生け簀見学



鈴木茂兵衛商店・水府提灯の製作の見学

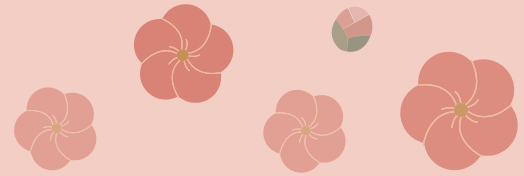


つくばチョウザメ産業・事業の説明



大井川知事ブリーフィング及びインタビュー

3.3 広報・PR



4 キービジュアルの制作

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の機運醸成を図るため、専門学校 文化デザイナー学院の協力のもと、キービジュアル（ポスターや啓発物品等に使用するデザイン）を制作しました。

(1) キービジュアル学生プレゼンテーション

日 時：2023年6月27日(火) 10:00~12:00

場 所：専門学校 文化デザイナー学院 6階



学生によるプレゼンテーション



ゲスト講師による講評

(2) キービジュアルデザイン候補作の公表

日 時：2023年7月6日(木) 14:00~14:15

(G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合推進協議会第3回総会後に実施)

場 所：水戸市民会館 大会議室



推進協議会委員に向けた最終プレゼンテーション



【概要編】第3章 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催までのあゆみ

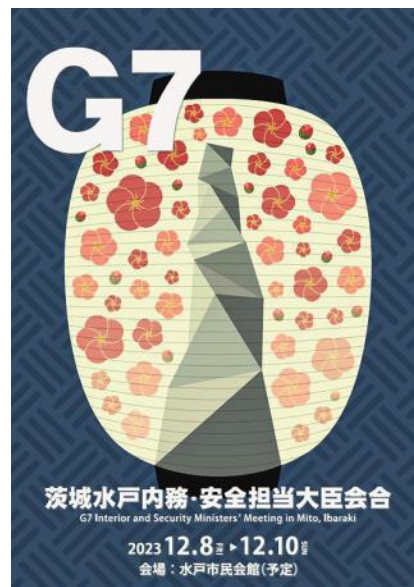
(3) 専門学校 文化デザイナー学院の知事表敬訪問

日 時：2023年7月19日(水) 11:30～

場 所：茨城県庁 知事応接室



決定したキービジュアル制作者と記念撮影



決定したキービジュアルデザイン

(4) キービジュアルポスター展の開催

① 茨城県庁

実施期間：2023年8月30日(水)～9月4日(月)

25階南側展望ロビー

2023年9月5日(火)～9月12日(火)

2階県民ホール

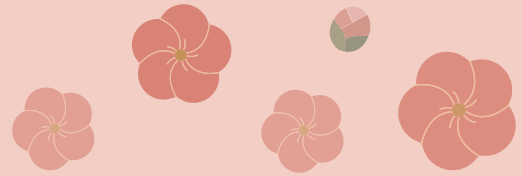


25階南側展望ロビー



2階県民ホール

3.3 広報・PR



② 茨城県立図書館1階ギャラリー

実施期間：2023年10月25日(水)～11月12日(日)



③ 水戸市民会館1階やぐら広場

実施期間：2023年11月14日(水)～12月4日(月)



5 広報活動

(1) 広報媒体の掲出、設置等

大臣会合開催の機運醸成及び開催告知のため、横断幕やバナーフラッグ等の市内装飾やデジタルサイネージを活用したカウントダウン表示などを行いました。



開催300日前記念横断幕（茨城県庁）



開催300日前記念懸垂幕（水戸市役所）



パトカーでの広報

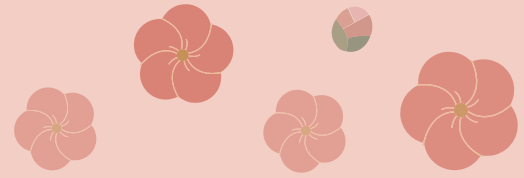


G7 特別警戒中マグネット



街頭ビジョン（M-SPO）

3.3 広報・PR



デジタルサイネージでのカウントダウン（水戸市民会館）



市内装飾・バナーフラッグ（南町・泉町周辺）



市内装飾・横断幕（南町三丁目歩道橋）



横断幕（水戸駅北口）



横断幕（水戸駅南口ペDESTロリアンデッキ）



横断幕（三の丸歩道橋）



横断幕（千波小下歩道橋）

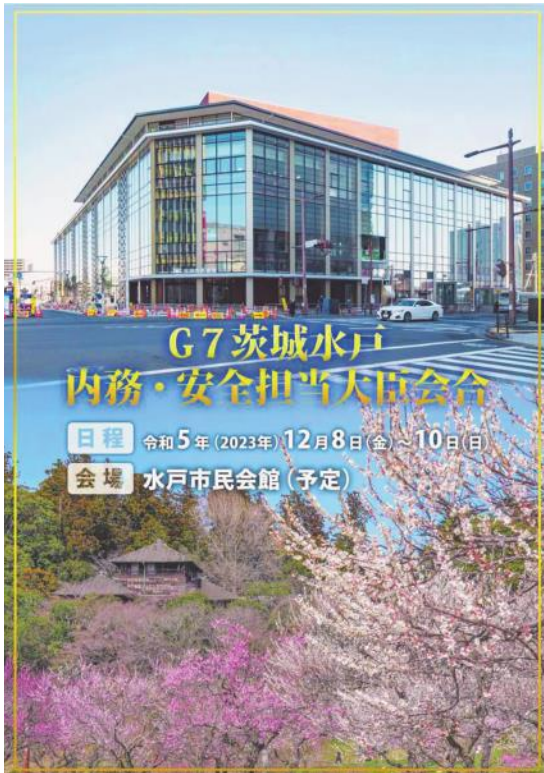
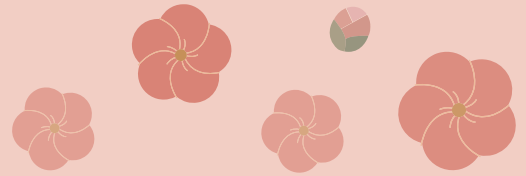
(2) 紙面やインターネットによる情報発信

大臣会合開催の機運醸成及び開催告知のため、ポスター、チラシを作成して県内各所に配布したほか、県や市の広報誌への記事掲載や新聞広告の掲載を行いました。また、県ホームページ等からも情報発信を行いました。



キービジュアルポスター

3.3 広報・PR



G7茨城水戸 内務・安全担当大臣会合

日程 令和5年(2023年)12月8日(金)～10日(日)
会場 水戸市民会館(予定)

チラシ(2023年3月作成) 表

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合

G7 Interior and Security Ministers' Meeting in Mito, Ibaraki

G7サミットとは？

G7サミット(主要国首脳会議)とは、仏、米、英、独、日、伊、加(議長国)の7か国並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して、毎年開催される国際会議です。
G7サミットでは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7首脳が一つのテーブルを囲みながら、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について、率直な意見交換を行います。

関係閣僚会合

G7サミットでは、広島での首脳会議のほか、全国各地で関係閣僚会合を開催し、各分野の重要課題について議論します。
北は札幌から、南は宮崎まで、一年を通じ、15回の関係閣僚会合が開催され、各国から政府関係者やメディアの皆さんなど多くの人が日本を訪れます。

G7サミット・関係閣僚会合の開催地と日程

4/12-13 北海道札幌市 北海道庁 北海道庁長官 菅 義偉
5/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
6/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
7/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
8/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
9/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
10/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
11/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
12/8-10 茨城県水戸市 水戸市民会館(予定) 茨城県知事 渡辺 達生

茨城水戸内務・安全担当大臣会合

参加国・機関(議長の例)
フランス・米国・英国・ドイツ・日本・イタリア・カナダ・欧州連合(EU)・国際刑事警察機構(INTERPOL)

日程 会場
2023年12月8日(金)～10日(日) 水戸市民会館(予定)

公共安全を所管するG7各国の閣僚等(EUとインターポールを含む。)による会合で、これまで、国際組織犯罪、国際テロ、サイバーセキュリティ、環境犯罪等の対策等について議論が交わされてきました。治安・安全、犯罪の高度化や国際的な安全への脅威を背景とした課題について話し合われる重要な会合です。

茨城県水戸市での会合開催の意義

茨城県は、おもてなしにあふれる国際会議の開催実績が豊富です。
水戸市は、江戸時代、徳川御三家のひとつ水戸徳川家の城下町として栄え、明治に入り、全国で初めて市制を施行した都市のひとつです。茨城県の県庁所在地として、商業が栄え、また、水戸芸術館をはじめとする芸術文化も盛んです。世界から注目される本会合を開催し、茨城県や水戸市の魅力を広く世界に向けて発信していきます。
皆様にも、会合の成功に向け、ぜひご協力をお願いします。

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合推進協議会
事務局:茨城県 警察総務部 G7大臣会合推進室内(TEL. 029-301-2789)

チラシ(2023年3月作成) 裏

G7

茨城水戸内務・安全担当大臣会合

G7 Interior and Security Ministers' Meeting in Mito, Ibaraki

2023 12.8 日 12.10 日

会場: 水戸市民会館(予定)

チラシ(2023年8月作成) 表

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合

G7 Interior and Security Ministers' Meeting in Mito, Ibaraki

G7サミットとは？

G7サミット(主要国首脳会議)とは、仏、米、英、独、日、伊、加(議長国)の7か国並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して、毎年開催される国際会議です。
G7サミットでは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7首脳が一つのテーブルを囲みながら、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について、率直な意見交換を行います。

関係閣僚会合

G7サミットでは、広島での首脳会議のほか、全国各地で関係閣僚会合が開催され、各分野の重要課題について議論されています。
12月に水戸市で開催される内務・安全担当大臣会合は、一連の関係閣僚会合の最後となります。大臣会合開催期間中は各国から政府関係者やメディアなど、多くの人が訪れます。

G7サミット・関係閣僚会合の開催地と日程

4/12-13 北海道札幌市 北海道庁 北海道庁長官 菅 義偉
5/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
6/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
7/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
8/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
9/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
10/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
11/12-13 東京都千代田区 東京都庁 東京都知事 小池 忠正
12/8-10 茨城県水戸市 水戸市民会館(予定) 茨城県知事 渡辺 達生

茨城水戸内務・安全担当大臣会合

参加国・機関(議長の例)
フランス・米国・英国・ドイツ・日本・イタリア・カナダ・欧州連合(EU)・国際刑事警察機構(INTERPOL)

日程 会場
2023年12月8日(金)～10日(日) 水戸市民会館(予定)

公共安全を所管するG7各国の閣僚等(EUとインターポールを含む。)による会合で、これまで、国際組織犯罪、国際テロ、サイバーセキュリティ、環境犯罪等の対策等について議論が交わされてきました。治安・安全、犯罪の高高度化や国際的な安全への脅威を背景とした課題について話し合われる重要な会合です。

茨城県水戸市での会合開催の意義

茨城県は、おもてなしにあふれ、国際会議の開催実績が豊富です。
水戸市は、江戸時代、徳川御三家のひとつ水戸徳川家の城下町として栄え、明治に入り、全国で初めて市制を施行した都市のひとつです。茨城県の県庁所在地として、商業が栄え、また、水戸芸術館をはじめとする芸術文化も盛んです。世界から注目される本会合を開催し、茨城県や水戸市の魅力を広く世界に向けて発信していきます。
皆様にも、会合の成功に向け、ぜひご協力をお願いします。

交通混雑緩和にご協力をお願いします

大臣会合開催期間中は、水戸市民会館周辺の道路が予想されます。道路を通行される皆さまにはご不便をおかけいたしますが、公共交通機関の利用など交通混雑の緩和にご協力をお願いします。

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合推進協議会
事務局:茨城県 警察総務部 G7大臣会合推進室内(TEL. 029-301-2789)

チラシ(2023年8月作成) 裏

【概要編】第3章 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催までのあゆみ

知事コラム Where there's a will, there's a way.
vol.43
— 意志あるところに道は開ける —

2023年のG7サミット（主要国首脳会議）に合わせて開催される関係閣僚会合のうち、内務・安全担当大臣会合の水戸市での開催が決定しました。

本県での関係閣僚会合は、2016年G7茨城（つくば）科学技術大臣会合、2019年G20茨城（つくば）貿易・デジタル経済大臣会合に続き、3回目の開催となり、内務・安全担当大臣会合は、国際機関総評やサイバーセキュリティなどが議論されています。

昨今の国際情勢によりG7としての結束の重要性が高まる中、注目の高い重要なテーマの会合が本県で開催されることを大変喜ばしく感じるとともに、これまで誘致活動にご協力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝を申し上げます。

水戸市での開催決定については、本県が関係閣僚会合の実績が豊富であることや、交通アクセスの良さに加え、水戸市が、歴史のある日本の文化を感じられる都市であることなど、各国の関心をおこぼして、国際社会の治安課題を議論するのにもふさわしい環境であることを評価いただいたことを誇りに思います。

会合は、茨城の魅力を世界に発信する絶好の機会となることから、開催効果を地域の活性化へつなげられるよう、さまざまな取組を進めるとともに、成功に向け、水戸市や関係団体と連携しながら、受け入れ準備を進めてまいりますので、県民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

関係閣僚会合では、1月に海外大使へ説明を実施しました。

茨城県知事 大井川 和彦

ひばり2022年11月号

PICK UP
G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合を開催！

G7広島サミットの関係閣僚会合の1つ「内務・安全担当大臣会合」が、12月に水戸市で開催されます。本県で開催機会が創設されるのは、2016（平成28）年のG7科学技術大臣会合（つくば市）、2019（令和元）年のG20貿易・デジタル経済大臣会合（つくば市）に続き、3回目となります。

茨城の魅力を国内外へ発信する絶好の機会と捉え、万全の体制で臨めるよう水戸市や関係団体などと連携し、準備を進めていきます。

日程 / 12月8日（金）～10日（日）の3日間
会場 / 水戸市民会館（予定）

G7内務・安全担当大臣会合とは
2017（平成29）年より、G7外務省長官によるG7各国の領事などによる開催され、G7外務省の結束を強化し、国際社会に発信している。これまで、国際機関総評、サイバーセキュリティ、経済犯罪、気候変動の対策の討議などが行われてきた。

関係閣僚会合 029(30)12769

▲会場となる予定の水戸市民会館

ひばり2023年1月号

カービジュアルを
無料プレゼント

G7
茨城水戸内務・
安全担当大臣会合
12月に開催！

茨城大学 総合シンポジウム
12月8日（金）18時～19時
会場：水戸市民会館（予定）

交通渋滞予想マップ

関係閣僚会合 029(30)12769

ひばり2023年11月号

G7サミット「主要国首脳会議」とは
フランスを議長国とするG7サミットは、G7の首脳が一堂に集まり、世界情勢について話し合い、共同声明を発表する。また、G7の結束を強化し、国際社会に発信している。これまで、国際機関総評、サイバーセキュリティ、経済犯罪、気候変動の対策の討議などが行われてきた。

G7内務・安全担当大臣会合とは
2017（平成29）年より、G7外務省長官によるG7各国の領事などによる開催され、G7外務省の結束を強化し、国際社会に発信している。これまで、国際機関総評、サイバーセキュリティ、経済犯罪、気候変動の対策の討議などが行われてきた。

安全担当大臣会合
12月8日（金）～10日（日）
水戸市民会館

関係閣僚会合 029(30)12769

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催に伴う
交通混雑の緩和にご協力ください

問合せ / 茨城県警察本部（0301-0110）または水戸市民会館総務課（0231-7070）

12月8日（金）～10日（日）、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合が開催される予定です。

会合期間中は、警察による交通規制や警戒警備が実施されるため、会合期間の水戸市民会館周辺などで渋滞が予想されます。渋滞を進行させないため、公共交通機関の利用など、交通混雑の緩和にご協力をお願いします。

詳細は、茨城県警察ホームページをご覧ください。

また、会合期間に併し、周辺の公共施設が休業となる予定です。詳細は、市ホームページをご覧ください。

交通渋滞予想マップ

広報みと2023年11月15日号

Mito
広報みと

令和6（2024）年
1.1
No.1585
特掲号

G7
Mitsunaka and Security Ministers' Meeting
in MITO, IBARAKI

G7茨城水戸内務・
安全担当大臣会合 開催

12月8日～10日、県内、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合が開催されます。水戸市では、イブニング・イベントを開催し、市民の関心を集めます。また、会場の周辺にイベントスペースを設置し、市民の関心を集めます。

広報みと2024年1月1日号（開催後）

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の開催に伴い
交通渋滞緩和へのご協力をお願いします

開催日：12月8日（金）～10日（日）
場所：水戸市民会館（予定）

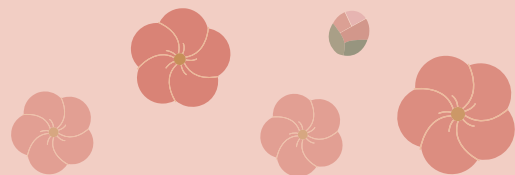
会合期間中は、渋滞などにより水戸市民会館周辺の渋滞が予想されます。渋滞を進行させる前には不便をおかけしますが、お車の運転はなるべく控えていただき、公共交通機関の利用など、交通混雑の緩和にご協力をお願いします。

お問い合わせ
（会合に関すること）
G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合推進協議会事務局
TEL.029-3011-2769
（交通規制等に関すること）
茨城県警察本部総合警備対策課 TEL.029-301-0110

交通渋滞予想マップ

茨城新聞・朝日新聞・産経新聞（2023.12.1）、読売新聞・毎日新聞（2023.12.5）

3.3 広報・PR



G7茨城水戸
内務・安全担当大臣会合開催

12/8(金)~10(日)
県農業栽培部 G7大臣会合推進室 ☎029(301)2769

来月、水戸市で、G7サミットの関係閣僚会合の一つである「内務・安全担当大臣会合」が開催されます。
今回は、G7サミットやG7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の概要、会合を契機とした魅力発信の取り組みについてご紹介します。

G7サミットとは

G7サミット(主要国首脳会議)とは、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ(議長国)の7か国並びに欧州理事会議長および欧州委員会委員長が参加して、毎年開催される国際会議です。
G7サミットでは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7各国の首脳が一つのテーブルを囲み、世界経済、地域情勢、地球規模の課題をはじめとするその時代の国際社会における重要な課題について意見交換を行います。成果を文書にまとめた公表しています。

G7サミット・関係閣僚会合の開催地と日程

- 6/24-25 基本構想決定
英外務省(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 5/1-13 第50回首脳会議
サウジアラビア(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 4/29-30 第49回首脳会議
フランス(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 4/22-23 第48回首脳会議
ドイツ(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 5/14-15 第47回首脳会議
米国(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 5/13-14 第46回首脳会議
英国(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 4/22-23 第45回首脳会議
フランス(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 7/7 東京サミット
日本(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 4/16-18 第44回首脳会議
米国(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 5/12-15 第43回首脳会議
英国(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 6/16-18 第42回首脳会議
米国(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 10/29-30 第41回首脳会議
英国(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)
- 7/7 第40回首脳会議
米国(首相官邸) 首相官邸(首相官邸)

G7内務・安全担当大臣会合とは

公共安全を所管するG7各国の閣僚など(EUとインターポール含む)による「G7内務・安全担当大臣会合」は、2017年にイタリアで開催されて以降、開催が慣例化した関係閣僚会合です。
これまで、
○国際組織犯罪 ○国際テロ ○サイバーセキュリティ
○環境犯罪の対策 ○経済安全保障の確保
など閣僚の治安課題について議論が交わられ、結果として対応することが確認されてきました。
今回、日本からは松村国家公安委員会委員長(関係省庁:警察庁)が議長として参加します。

7回目の議長国

G7議長国の任期は1月から12月の1年間です。議長国は、事務レベルの準備会や関係閣僚会合の開催を通じて、その年のサミット(首脳会議)の準備および実施を行います。
日本はこれまで、1979年・1986年・1993年(東京サミット)、2000年(九州・沖縄サミット)、2008年(北海道洞爺湖サミット)、2016年(伊勢志摩サミット)を開催しており、本年5月に開催された広島サミットは、7回目の議長国となります。
G7サミットでは、広域での首脳会議のほか、全国各地で関係閣僚会合を開催し、各分野の重要課題について議論します。
北は札幌から、南は宮崎まで、一年を通じ、15もの閣僚会合が開催され、各国から政府関係者やメディアの皆さんなど多くの人が日本を訪れます。

これまで茨城で行われた関係閣僚会合

2016 G7科学技術大臣会合(つくば市)

議論内容
○産学連携と科学技術
○科学技術イノベーションの推進に向けての女性の参画
○産学連携の人的資源
○海洋の未来
○最先端のエネルギー技術
○気候変動と気候変動対策を促進するイノベーションの促進 など

2019 G7経済・デジタル経済大臣会合(つくば市)

議論内容
○信頼性のある信頼なデータ連携
○人財中心の人工知能
○貿易とデジタル経済のイノベーション
○持続可能な、包括的な成長を促進する貿易投資促進
○WTO改革と二国間・地域貿易協定 など

茨城・水戸の魅力

10月10日に茨城アンテナショップ「IBARAKI sense (イバラキセンス)」(東京・銀座)にて、海外メディアを対象に、茨城県の魅力について紹介するイベントを開催しました。イベントでは、秋の味覚である栗にフォーカスし、笠原の栗ブランドに関する講演のほか、東京・谷中にある唯一無二の和菓専門店「和菓屋」オーナーの平代氏によるワークショップやモンブランの提供を行い、食の芸術・茨城県の魅力を存分に味わっていただきました。イベントの模様は、インドネシアなどの海外メディアで紹介され、

県産品の国際的な認知度向上につながる機会となりました。
10月12日には、G7各国の大使館員らが会場(予定)である水戸市民会館などを視察に訪れました。これに併せ、県や水戸市などで行くG7茨城水戸内務・安全担当大臣会合推進協議会主催で、信楽窯と加賀神社の散策や夕食会を開催しました。
信楽窯では、梅林や好文亭周辺を散策し、水戸の歴史・文化に触れたいと多くのご来場者がありました。また、常盤神社では、信楽の清美をバックに、水戸の伝統工芸品「水戸燈籠」で照らされた日没後の境内を訪問しました。その後の夕食会では、常盤牛をはじめとした県産食材をふんだんに使用した料理を提供したほか、県内ビール・ワインの試飲ブースを設け、レセプションなどで振る舞う品の参考とするため、投票が行われました。
今後、海外メディア向けツアーの開催や会合でのおもてなしを通じて、茨城が誇る豊かな文化や水戸の歴史・食料を国内外へ発信していきます。

皆さんも一緒にG7を盛り上げませんか？

G7直前イベント in MitoriO フェスティバル

日時：11月25日(土) 11時～16時(予定) 会場：水戸芸術館広場ほか
内容：G7 キービジュアルポスター展、警察音楽隊の演奏や警察車両の展示(予定)
先着で100人の方にノベルティグッズをプレゼント！
入場料：無料

お知らせ

G7

社会を照らす、伝統の灯
～キービジュアルを制作しました～

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の開催を広くPRするため、キービジュアルデザインを制作しました。専門学校文化デザイナー学院の協力のもと、学生28名が制作したデザインの中から、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合推進協議会委員の投票により、水戸の伝統的な水府燈籠をモチーフとしたデザインが選ばれました。
水戸のシンボルである梅や水戸芸術館の塔を取り入れるほか、水戸の伝統的な染物である「水戸黒」の色合いが背景に用いられており、開催地である水戸市のPRにも貢献しています。
制作：専門学校文化デザイナー学院 広告プロモーション学科
内田 汐音さん

お知らせ

G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の開催にともない交通渋滞緩和へのご協力をお願いします

交通渋滞予想マップ

開催期間
令和5年12月8日(金)～10日(日)
会場
水戸市民会館(予定)(水戸市扇町1丁目)

会合期間中は、会場周辺および水戸市内の混雑が予想されます。お車の運転はなるべく控え、公共交通機関などのご利用をお願いします。
また、急な検問などにより交通渋滞が発生する場合があります。現場の警察官の指示に従って通行してください。
ご不便をおかけしますが、皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

問 茨城県警察本部 警備課 ☎029(301)0110(代表)



【概要編】第3章 G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合開催までのあゆみ



茨城県ホームページ

X (旧 Twitter) 投稿



キービジュアル決定 (2023.8.23)



カウントダウン開始 (2023.9.16)

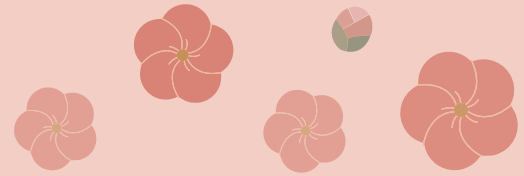


交通渋滞緩和への協力依頼 (2023.12.3)



会合閉幕 (2023.12.11)

3.3 広報・PR



(3) オリジナルフレーム切手の発行

県内の郵便局及び郵便局ネットショップにおいて、大臣会合開催記念のフレーム切手が発売されました。



オリジナルフレーム切手（切手シート）



切手シートの解説書

(4) 海外メディアの記事広告等による情報発信

大臣会合の開催により世界から開催地に注目が集まるタイミングを活かして、水戸市の文化・歴史や、茨城県の食材などの魅力を世界へ紹介しました。



NHK ワールドでの動画放映



切手シートの解説書



共同通信デジタルでのニュース動画配信



6 | Saturday-Sunday, May 20-21, 2023

The Japan Times Weekend

Ibaraki special

(Sponsored content)

Fertile land nurtures a rich culture and a hearty spirit

On the Pacific coast of Honshu, just north-east of the capital, is Ibaraki Prefecture — Tokyo's secluded back garden. Home to the world-class technology hub of Tsukuba Science City and the developing industrial area of Hitachi and Kodokan, this fertile prefecture has always been enthusiastic about feeding new ideas, new investment, and the nation's future.

Given its flat landscape and mild climate, Ibaraki is not only a popular cycling destination but one of the nation's leading producers of agriculture. Ibaraki grows more melons, chestnuts, lotus root and green peppers than any other prefecture and is also the source of popular livestock products, including Hitachi beef (a variety of wagyu), Hitachi no Kagayaki pork and Chichibu shamo (gamecock), which are gaining popularity.

Ibaraki's long history is closely entwined with one of the most important eras in Japanese history — the Tokugawa, based in Mito, the prefectural capital, lord Tokugawa Naritoku played an influential role in shaping the destiny of both Ibaraki and Japan, by imbuing philosophy, ritual, long-term planning and military thinking into his plans to protect Japan's borders during its sequestering.

He negotiated national morale and laid some of the foundations for the Meiji Restoration in 1868, when imperial rule was restored under the emperor and the samurai lost their privileged status. As host of this year's G7 Interior and Security Ministers Meeting, Mito is an ever-evolving city famous for its scenery and fascinating cultural heritage. "Satō" — another name for Mito — means "the imaginary city where the venter gods live," with the Naika, Hinuma and Sakasa rivers



all flowing through it. The close proximity of the Pacific Ocean, along with nearby Lake Senba, means these waterways bring beauty and convenience to the city and play a strong role in the city's identity.

Strategic pairing

Kanaiwan is the city's heart and soul, housing 3,000 plum trees of over 100 varieties. The garden is one of the "three great gardens" of Japan. When the plum trees are in bloom, every year from mid-February to the end of March, the garden attracts large crowds to view the flowers. The large growth of plum trees provides not only a stunning view but also an insight to the minds of the planners. Kanaiwan was designed with military defense in mind. The plum trees would also produce fruit that would help sustain a defending army and the bamboo

was selected for its suitability in making archery bows. The plum blossoms bloom ahead of the spring even when there is still snow on the ground. It is believed that Naritoku chose plum trees because it reflected his desire to have his domain be the leader of the country.

Kanaiwan is worth a visit any time of the year and unlike many of Japan's traditional gardens, Kanaiwan has always been open to all members of the public, not only the nobility. The garden has an expansive bamboo forest, Lake Senba and Tokugawa's villa, Kuboten, which features delicately painted wall screens and views of the gardens and surrounding wonderful scenery. Nearby Kodokan holds an important place in Mito's history. Kodokan was established as an educational facility to build the mind while Karaiwan was built as its companion establishment to give the people a place to relax and feed the spirit. Designated as a National Historic Site in 1962, the buildings are within the grounds of the ruins of Mito Castle. It was established in 1841 by Tokugawa to educate samurai and retainers of his clan. With a forward-looking curriculum, Kodokan played an important role in the intellectual and cultural development of Japan, developing a number of students who went on to become important figures in Japan's modernization.



Far left: Kodokan, a facility designed for the study of literature and the martial arts, was founded as a counterpart to the garden. Left: Kanaiwan, the name of the garden created by Tokugawa Naritoku, a lord of Mito during the Edo Period, means "the garden everyone can enjoy together."



With a 360-year history, Mito is still famous for its traditional lanterns today.



The Mito Tobikan dojo teaches martial arts. With a fertile plateau, Ibaraki leads in the production of many agricultural products, including melons, chestnuts and more. It is also famous for its sake and natto (fermented soybeans).

The two places form a partnership, as Tokugawa envisioned the people of his domain having somewhere to spend their time studying and somewhere to spend time relaxing. Much like martial arts and tea, the concept was to provide a well-rounded lifestyle for the rhythm of his domain's lives. Interestingly, the school was built first by design, as there were concerns that should the park come first, students might become used to playing and become lax in their studies.

This was part of his vision combining traditional ritual and emerging technology to keep Japan independent as it emerged from the period of isolation launched in the early 1600s by the shogun Tokugawa Ieyasu to prevent colonial and religious influences from affecting Japan. It would take until 1853 with the arrival of Commodore Perry's Black Ships for Japan's resignation to start, and for Tokugawa Naritoku to strive to steer Japan toward equality with the powers of the day. Kodokan had no graduates, with students able to continue studying even as they begin their working lives — a concept not dissimilar to modern-day post-graduate education. With its departure from traditional norms, Kodokan was in many ways a forerunner to Japan's modern educational institutions.

Many Tobikan is a martial arts dojo that values accessibility. Established in 1974, Tobikan inherited the motto of Kodokan: "The literary and the military use the same path." Karate, judo and taekwondo are all taught here, and visiting practitioners are welcome to join training sessions. Another martial arts landmark is the arena in neighboring Kasama is Aki Shrine, the world's only shrine dedicated to aikido. Built in 1964 by Morihei Ueshiba, the father of aikido, the shrine is a sacred place to practitioners of the martial art.

Farming powerhouse

Ibaraki is a leading agricultural prefecture known for its sake and natto (fermented soybeans). The fertile soil and mountainous rivers provide ideal conditions for producing sake, and the prefecture has one of the largest number of breweries in the Kanto region.

Natto is perhaps Ibaraki's most well-known product. Legend has it that a famous samurai, Minamoto no Yoritomo, was passing through Mito in 1083 when his troops were resting. In their haste, the troops hurriedly packed some freshly cooked soybeans intended for horse fodder. In sacks made of rice straw. Forgotten for several days, bacteria from the straw combined with the warmth of the horse carrying the sacks caused fermentation, creating a sticky, pungent food that the troops (not the horses) ate, and a legend was born. Natto is now eaten daily as part of breakfast and other meals all over Japan. The actual origins are likely more prosaic, as the ingredients and tools needed to make natto have been available in Japan since ancient times. Today, the benefits of fermented foods are well documented and soybeans are an excellent source of nutrition, giving natto a deserved reputation as a health food.

Enchanting lanterns

Lantern-making is a traditional Japanese art and Mito is one of three major production centers in Japan. After starting about 300 years ago, production of traditional lanterns still goes on in Mito in both traditional and modern designs. Sulfu lanterns are made with a type of water-resistant Japanese paper and locally grown bamboo, making them both durable and practical. Craftsmanship of such lanterns is still in demand today, a cultural legacy that visitors can try at some of the local workshops.



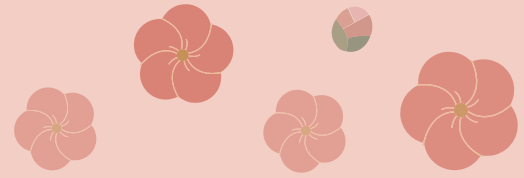
The paper made in Nishinoschi, where Koto mulberry plants grow, is an Ibaraki specialty and is as sturdy as textile. Nishinoschi paper is used in making lanterns, sliding doors and calligraphy, but the most unusual historical usage was in accounting. The water-resistant paper could be thrown into wells in the event of a fire, protecting important documents even when wet. The people of Ibaraki are happy to invite everyone to share their rich history of flowers, nature, food and culture and discover all the charms their prefecture has to offer in all four seasons. This page is sponsored by the Ibaraki Prefectural Government.

G7 Interior and Security Ministers' Meeting in Mito, Ibaraki (G7 茨城水戸内務・安全担当大臣会合) Dec. 8 to 10, 2023

The Japan Times

PAGE: 6 CMYK

3.3 広報・PR



(5) 水戸芸術館ライトアップ

大臣会合の開催機運を高めるとともに、各国代表団に対し歓迎の意を表するため、水戸芸術館のタワー等のライトアップを実施しました（照明デザイン・監修：逢坂卓郎）。



水戸芸術館のタワー



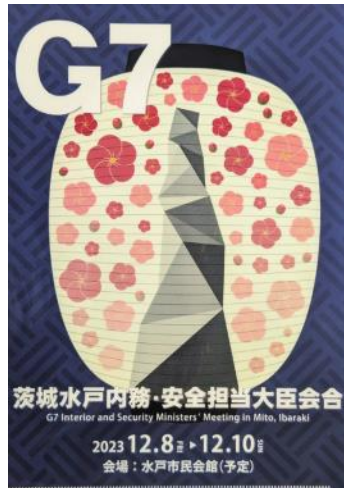
水戸芸術館のカスケード

(6) 記念グッズの配布

大臣会合開催の機運醸成及び開催告知のため、記念グッズを作成しイベント等において配布しました。



クリアファイル（大臣会合ロゴ）



クリアファイル（キービジュアル）



ハンドタオル



3色ボールペン フリクションボール3スリム（会合名称入り）



シャープペンシル オレンジ0.5（会合名称入り）